

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県有峰森林文化公園 森林政策課

2 施設所在地
富山市有峰

3 施設設置年度
平成14年度

4 設置目的
豊かな森林を有する有峰において、森林と人との密接な関わりの中で創られた森林文化を継承するとともに新たな森林文化を創造すること。

5 施設概要
敷地面積：97,828㎡
主な施設
・有峰ハウス（宿泊施設）：木造平屋一部二階 834㎡
・ビジターセンター（展示室・事務室）：鉄筋コンクリート造平屋 196㎡
・キャンプ場ロッジ（倉庫）：鉄筋コンクリート造平屋 164㎡

6 指定管理者
公益社団法人富山県農林水産公社

7 指定期間
3年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
19,642	17,357	21,777	22,603	15,106

※施設利用者数、開催イベント参加者数すべて合算したものとする。
R4年度は利用者数(1)～(2)、開催イベント参加者数と3項目あったため。

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
6,573	6,013	5,611	7,252	7,799

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
7,122	7,229	7,229	7,229	7,229

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

R4年度と比較し、利用者数は減少、収入は増加した。
利用者数が減少したのは、8月中旬に有峰ハウス等の施設がクマ被害にあったこと、紅葉の時期に天候不順が続いたことが要因と考えられる。
収入が増加した理由は新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行し規制が緩和されたことで、有峰ハウスの宿泊利用者が増加したことが要因と考えられる。

(2) サービス向上に向けた取組み

①新型コロナウイルス感染症対策として、R4年度に引き続き、行事の参加者人数の制限や宿泊行事を日帰り行事とし、また、全て事前申し込みとした。②ビジターセンターにおいて週ごとに見どころ写真を展示するとともにその情報を発信した。③有峰ハウス宿泊者に対し、昆虫の観察会を開催し、有峰の魅力を伝えた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

①宿泊施設(有峰ハウス)については、再委託先業者と常時意見交換し、適時適切な対応に努めた。②ホームページ(ありみネット)については、「今週の写真」「今週のTOPICS」において、適時の見頃情報や、文化活動実績の配信に努めた。また、LINEの公式アカウントでの行事案内や有峰新聞の配信、ありみネットへの誘導を行った。③有峰だからこそ観察、感じることができる行事(巨木や水がテーマのもの等)を実施した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	有峰ハウスフロントにアンケート用紙を置いて宿泊者に記入してもらっている。(ハウス営業期間：6月～11月に実施)
回答者数	203人
結果	総合評価欄 「大変満足」 47.4% 「ほぼ満足」 45.0% 「普通」 1.75% 「やや不満」 0.0% 「不満」 0.58%
結果を踏まえた改善事項	電気温水器の交換をR6年度予算で行う。

②その他利用者の声を反映させる取組み

文化村行事ごとに、アンケートを記入してもらい、集計して、年度末の有峰森林文化村会議懇話会に報告し、次年度の計画立案に活かしている。

③主な苦情と対応

無し

(5) 個人情報保護の取組み

協定書に基づいて職員でダブルチェックを行うなどの情報の管理や保護について周知を図っている。

(6) 関係団体との連携

クマ対策について立山カルデラ砂防博物館等と連携し正しい知識・行動をチラシ・看板等を用いて周知した。

(7) 施設・設備の維持管理

行事の実施前に施設(遊歩道)の安全確認を行い、倒木の撤去や崩土除去などを行った。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

指導員 クマ鈴・クマスプレー携帯を義務化
・普及パネル・チラシの内容拡充
 掲示・配布・窓口での説明(内容:遭遇防止、対処方法、誘因防止)
・注意喚起看板の新設
 冷タ谷キャンプ場
・ビジターセンター周辺の出没時の対応
 指導員によるコーンや注意看板の設置・撤去
・公園内、遊歩道散策する来館者に対し、指導員がクマ鈴の貸出

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	6
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	2
③個人情報に関するトラブルの有無	無	0
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	0

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

ホームページの改修、さらなるLINE配信の強化によってより多くの人に有峰の行事、景色をPRする。